

春よ！はよ来んか！

contents

1. In your time more lead

lyric, composed by Pizzi Puty & ichiro tetsuo

2. ピチ子の部屋

3. Blues Lee

lyric, composed by Pizzi Puty

4. Check fuse

lyric, composed by Pizzi Puty

5. No mine

lyric, composed by Pizzi Puty

DSWN-050302

©2005 digital studio "What's new?"



digital
studio
"What's new?"

<http://www.whats-new.ne.jp/>

OCPL 33213 0.4 α
*track 1,3,5
OCPL 00000 0.4 α
*track 2,4

31.Mar.2005 - 30.Mar.2006

OCPL : <http://www.opencreation.org/>
contact : info@whats-new.ne.jp



Pizzi Puty
Magazine

3

2005 Mar



interview

対 談

text : ichiro tetsuo (digital studio "What's new?")

昨年11月にスタートした Pizzi Puty Magazine もこの3月号で3作目になります。1年間の期間限定企画なので折り返し地点に到達した事になります。2ヶ月間で新曲3曲を作曲・レコーディング・マスタリングと駆け抜けた半年でした。ここで張本人である Pizzi Puty を迎えて振り返ってみました。

年間6作創る予定の半分きましたね。いままで新曲3曲に古い曲1曲。そしてギャグ1曲という配分でやって来たんですが、ギャグもネタが尽きたというのもあったし、「このパターンやね」と思われなくなかった。それにPizzi Putyが15分の曲をつくってきてしまったというのがあったので、「これは流れを変える良い機会だ」という事で、対談を収録してみました。

Pizzi Puty : みなさん聴いて頂いてわかる通り素晴らしい曲も書くんですけども、やはりライブをやったりとかですね、あるいは歌の中までも台詞を入れたりする位「おしゃべり」なんです。ですから対談というのはある意味自然な僕の泳ぐ姿なんです。

(裏へ続く)



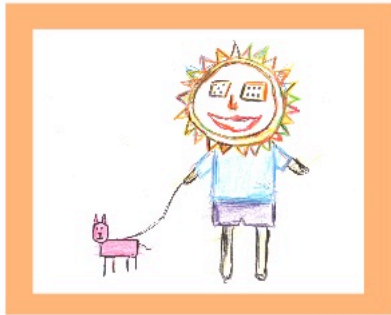
君は魚類か？

ウェブページにもあげた昨年12/10のライブの写があるんだけどその中で喋っている時はいい顔してるよね。生き活きてたもんね。

Pizzi Puty：ライブも演奏するより喋ってる時間の方がトータルすると長いかもしれないね。

やっぱり「ファンク界のさだまさし」なんだね。

Pizzi Puty：そうかもしれないね。



(2005/03/20時点で)2曲しか出来上がっていないので曲順は未定ですが、("ピチ子の部屋")はかなり早い曲順になっているはずなんですけど。というのも15分の曲("Blues Lee")を創ってしまったんだもんね。

Pizzi Puty：15分の曲もCDを聴いて頂いたら「えっ？15分もたつたっけ？(訳:15分も経っていたのかな?)」というように曲になっていると思うんで。

そうであって欲しいですねー。最初15分の曲が出来たって聞いた時はすぐさま「カット！」っていいましたけど。でもこのマガジンの企画がPizzi Putyの"旬"をお届けするところから始まったものだったし、せっかく出来た曲をポツにはすまいやと...。ただそうは思っているけども15分って「昔のジミヘンか！」ってツッコミたくりましたけど。曲のタイトルは決まったの？

Pizzi Puty：いや、まだ。一応メインコンピュータの中に入っているファイル名はね。この曲はPizzi Putyのブルース感を提示した.....(続く)

この続きはデジタルスタジオ・ワッツニューのウェブサイトで音声データとして聴く事ができます。http://www.whats-new.ne.jp/

プロフィール

大河ドラマ

文：びちふてい夫

第三幕

生まれた

1981 青春

いつの時期を青春と呼ぶのか。

人によって様々ではあると思うが、少なからずその人の人生においてインパクトのある時期であることには違いないだろう。いつの間にか音楽関係者がみんなして彼をボビーと呼ぶようになっていた事に気づいた時、彼は衝撃を受けた。世の中が彼に強烈なインパクトを与えた訳だ。

彼自身は彼なりにカッコいいステージネームを考えていたのだが、ボビーと呼ばれ慣れすぎてしまったせいで、ステージ上でつい「こんばんわボビーです」と名乗ってしまい、自ら多くの人に浸透させていくハメになった。

この名はあの街この街で呼ばれ、まだ熟しきっていない彼の登場により新たな風が吹き込む春の訪れを予感させた。まさに青春の到来であった！（編集者注：意味不明ですが勢いがあるのであえて原文のまま掲載します）

今もなおその新芽は熟しきっておらず青春真っ只中である！

1984 持続

彼は何を持続したのだろう？バンドは偉大な伝説を残し迷宮入りする。彼の場合、初めて人からもらったギターも今は土の中だし、愛したたくさんの女性も今は人のものだし、大事にしたサポテンはメキシコの大地に戻して今はもういない...

いったい何を持続しているのか？ずっとそんなことを考えている....。あっ・持続している！！

第一幕	誕生・運命の子	(0~3歳)	11月号
第二幕	金の印・試練	(7~17歳)	1月号
第三幕	青春・持続	(20~34歳)	3月号
第四幕	ファンクマスターへの道	(35歳の春)	5月号
第五幕	栄光への階段(予定)	(36~50歳)	7月号
第六幕	ポロポロになるまで(仮)	(70~100歳)	9月号

びちふていを応援してくれるお店です



スタジオ **Soul Mate Club**

住所 北九州市小倉北区黒崎1-12-6
日東興産ビル1F

電話 093-641-6666

定休日 無

駐車場 無し(近くに¥100Pあり)

アクセス JR黒崎駅 徒歩3分

ひとこと 味付けは塩と胡椒と愛情です♪

Pizzi Puty Magazine

購読者をご紹介ください!

デジタルスタジオ・ワッツニュー代表の鐵尾(てつお)一郎です。Pizzi Puty の魅力を多くの方に伝えたいという思いで Pizzi Puty Magazine を1年間の期間限定で発行しています。これを聴いてくださった皆様のお知り合いの中に「こいつなら絶対Pizzi Putyを気に入るって!」という方がおられましたら、その方の住所(できれば〒)・氏名をメールで info@whats-new.ne.jp (携帯メール可)までご連絡ください。こちらから Pizzi Puty Magazine を郵送させていただきます。

info@whats-new.ne.jp

お知らせ

コラム「黒崎ファンクジャー」は作者がヨーレンキンと格闘中の為、休載いたします。

Pizzi Puty Magazine CD

平成17年 3月31日発行 (通巻3号)
3月号 発行部数 125部

編集長○鐵尾 一郎
編集○デジタルスタジオ・ワッツニュー
進行・校閲○鐵尾 一郎
メイン絵画○宮崎 亮
制作協力○ファーデズM

発行○デジタルスタジオ・ワッツニュー
住所○福岡県北九州市八幡西区黒崎5丁目5-48
パークハイツ黒崎II 103 〒806-0021
電話○093-622-4158
080-5502-1665
家頁○ <http://www.whats-new.ne.jp/>
電子郵便○ info@whats-new.ne.jp
発行人○鐵尾 一郎

